Ⅱ. 狩野川流域(西部処理区)関連 沼津市公共下水道

事業計画変更計画書

流域関連公共下水道管理者 沼 津 市 長
 工 事 着 手 の 年 月 日 昭和 62 年 6 月 9 日
 工 事 完 成 の 予 定 年 月 日 平成 31 年 3 月 31 日 平成 36 年 3 月 31 日

(第1表) その1

		予定	処理区域及	び流域	下水道との接	続箇	所調書(汚水)		
処理区域の)面積		6 ヘクタール 8 ヘクタール	処理区	区域内の地名	٦	静岡県 区域は下水道計画-		つとおり」
処理分区 の 名 称		面積 ::ヘクタール)	流域下水道 接続箇所の		流域下水道 & 接続箇所の位		接続する流域 下水道の幹線名	摘	要
西部第6 処理分区	7	75. 6	西部 -	6	沼津市大區 字久保田		西部幹線		170 m³/日 189 m³/日 166mg/L 177mg/L 130mg/L 138mg/L
西部第7 処理分区	4	40. 4	西部一	7	沼津市三枚 字日の出 ^冊		西部幹線		277 m³/H 224 m³/H 161mg/L 177mg/L 126mg/L 140mg/L
西部第8 処理分区		37. 9 39. 4	西部一	8	沼津市本田	町	西部幹線		10 m³/H 575 m³/H 159mg/L 200mg/L 125mg/L 183mg/L
西部第9 処理分区	1	47. 7	西部一	9	沼津市西沢 字八反田	田	西部幹線		199 m³/日 323 m³/日 170mg/L 187mg/L 133mg/L 153mg/L
西部第10 処理分区		78. 9 72. 7	西部一	10	沼津市大諏 字上麦田	訪	西部幹線		184 m³/∃ 1845 m³/∃ 157mg/L 185mg/L 122mg/L 183mg/L

(第1表) その2

	予定	処理区域及び流域	下水道との接続箇	所調書(汚水)	
処理分区 の 名 称	面積 (単位:ヘクタール)	流域下水道との 接続箇所の番号	流域下水道との 接続箇所の位置	接続する流域 下水道の幹線名	摘 要
西部第11 処理分区	117. 2	西部-11	沼津市松長 字改正	西部幹線	計画下水量 (日最大) 3,892 m³/日 4,718 m³/日 予定水質 BOD 147mg/L 186mg/L SS 119mg/L 186mg/L
西部第13 処理分区	205. 6 203. 7	西部 - 13	沼津市原 字町中	西部幹線	計画下水量 (日最大) 5,564 m³/日 6,262 m³/日 予定水質 BOD 166mg/L 185mg/L SS 137mg/L 162mg/L
西部第14 処理分区	63.8	西部-14	沼津市原 字西中	西部幹線	計画下水量 (日最大) 2,316 m³/日 2,453 m³/日 予定水質 BOD 166mg/L 177mg/L SS 130mg/L 138mg/L
西部第15 処理分区	78. 2	西部-15	沼津市原 字女鹿塚	西部幹線	計画下水量 (日最大) 2,034 m³/日 2,152 m³/日 予定水質 BOD 145mg/L 334mg/L SS 124mg/L 321mg/L
西部第16 処理分区	110. 5 99. 6	西部-16	沼津市原 字女鹿塚	西部幹線	計画下水量 (日最大) 2,430 m³/日 1,384 m³/日 予定水質 BOD 166mg/L 177mg/L SS 130mg/L 138mg/L

(第2表)

		<u>H</u>	口 調	書			
排水区 の名称	主要な吐口の 種類	主要な吐口 の番号又は 名称	主要な吐口 の位置	計画放流量 (m³/sec)	放流先 の名称	摘	要
狢川排水区	分流式 雨水管渠	狩-6	沼津市 大手町4丁目	9. 683	狩野川		

(第3表) その1

	 管 渠	調	善 (注	E -k)
		前	小	5 水)
処理分区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延 長 (単位:メートル)	点検箇所 の数	摘 要
	O 100	130		
	○ 200	930		
	○ 250	460		
	○ 300	870		
西部第6処理分区	○ 350	580		
四明为《处生》	○ 450	290		
	○ 500	400		
	○ 600	190		
	<u> </u>	20		
	○1350	710		
計	_	4, 580		
	O 200	310		
	O 250	1, 160		
	<u> </u>	880		
	○ 350 ○ 400	480		
	 400 450	1, 200 630		
	○ 500	460		
西部第7処理分区	○ 600	960		
	O 700	1, 220	_ 1 箇所	方法:マンホールからの管内目視又は管ロテレ ビカメラを用いる方法 頻度:5年に1回以上
	○ 800	390		
	O 900	130		
	○1000	380		
計		8, 200	_ 1箇所	
	○ 250	800		
	○ 300	510		
	○ 350	760		
西部第8処理分区	O 400	1,030		
	O 500	330		
	<u> </u>	260		
41	O 700	240		
計		3, 930		

(第3表) その2

	管	渠	調	書	(汚	水)		
処理分区の名称	主要な管渠 内のり寸泡 (単位: ミリメー	去	延 長 (単位:メートル	点検(摘	要
西部第9処理分区	○ 200○ 250○ 300○ 350○ 400○ 450○ 500○ 800		330 160 240 660 430 940 620 20 3,400					
	○ 250○ 300		740 120 280					
	○ 350		400 100 -					
西部第 10 処理分区	 400 450		- 370 80					
	○ 500○ 600		860 770 140					
計	<u> </u>		10 2, 210					
西部第 11 処理分区	300 350 450 600 1500		1,890 190 810 320 70 10					
計	0		1, 400					
	○ 250○ 300○ 350○ 400		800 1,090 1,320 530					
西部第13处理分区	O 450		830	1 篖			を用いる	
	○ 600 ○ 700		230 300		_			
<u></u>			5, 100	1 筃	所			
西部第 14 処理分区	 350 400 500		320 190 30					
計			540					

(第3表) その3

	管渠	調調	書 (注	秀 水)		
処理分区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位: ミリメートル)	延 長 (単位:メートル)	点検箇所 の数		摘	要
	○ 250	1,080				
	○ 300	170				
	○ 350	400				
西部第 15 処理分区	○ 400	160				
	○ 600	160				
	○ 700	540				
	○ 800	70				
計		2, 580				
	○ 200	880 760				
	○ 250	100				
再如第 16 加珊八区	○ 300	290				
西部第 16 処理分区	○ 350	130				
	O 400	780				
	O 450	380				
	O 600	890				
計		3, 450 3, 330				
総	計	35, 390 34, 950	_ 2箇所			

(第5表)

-								
		ポンプ	施設	調	書			
ポンプ施設 の名称	処理分区 の名称	ポンプ施設 の位置	(角付・ヘクタール) ┣━━━		1 分間の揚水量 (単位:立方メートル) E時最大 雨天時最大			摘要
三枚橋 中継ポンプ場	西部第7 処理分区	沼津市 三枚橋	0. 050	4. 32		_		汚水
狢川雨水 ポンプ場	狢川排水区	沼津市大手町 4丁目 0.054 三枚橋町				360.	0	雨水
		ポンプ施設の	の敷地内の主要な	施設				
ポンプ施設 の名称	主要な施設 の名称	数	構造		能力			摘要
	沈砂池	2池	巾 1.5m×長 2.	. 5m				
三枚橋 中継ポンプ場	揚水ポンプ	3台	水中汚水ポンプ 150mm φ×17.0m ×22kW		2. 5 m³/	/分/台	(3/4) 内1台予備	
狢川雨水 ポンプ場	揚水ポンプ	2台	水中雨水ポンプ 1200mm φ×5.3r ×320ps	n				(2/2)

5. 毎会計年度の工事費の予定額及びその予定財源

赤字:既計画

							黒字:変更	計画 (単	单位:千円)
			1 .	経	費	の部			
年 次		建 設	改」	良 費		40 Hz - 40	616 1-4-		合計
4 次	管渠	ポンプ場	流域下水道 建設負担金	計	うち 用地費	起債元利 償還費	維持 管理費	その他	日前
平成29年度まで	59, 434, 597	889, 500	-	60, 324, 097	_	25, 372, 466	8, 996, 731	5, 216, 829	99, 910, 123
(過年度分)	51, 325, 659	889, 500	5, 372, 166	57, 587, 325	-	32, 327, 292	9, 097, 713	-	99, 012, 330
平成30年度	2, 522, 321	1	-	2, 522, 321	-	1, 454, 050	534, 415	50, 866	4, 561, 652
十成30千及	2, 649, 490	_	41, 241	2, 690, 731	-	1, 572, 677	635, 769	-	4, 899, 177
平成31年度	-	-	-	-	_	-	-	-	_
十八31十尺	2, 688, 242	-	41, 241	2, 729, 483	-	1, 546, 239	687, 742	-	4, 963, 464
平成32年度	-	-	-	-	_	-	-	-	_
十八32十尺	2, 309, 433	_	41, 241	2, 350, 674	_	1, 537, 128	725, 172	_	4, 612, 974
平成33年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
十八55千尺	2, 207, 110	-	41, 241	2, 248, 351	-	1, 479, 538	728, 820	-	4, 456, 709
平成34年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
十八01十尺	2, 161, 392	-	41, 241	2, 202, 633	-	1, 445, 650	724, 860	-	4, 373, 143
平成35年度	-	-	-	-	-	-	-	-	_
十成55千及	2, 786, 646	-	41, 241	2, 827, 887	ı	1, 340, 067	721, 350	-	4, 889, 304
小計	2, 522, 321	-	-	2, 522, 321	-	1, 454, 050	534, 415	50, 866	4, 561, 652
/1, 旦	14, 802, 313	-	247, 446	15, 049, 759	-	8, 921, 299	4, 223, 713	-	28, 194, 771
合計	61, 956, 918	889, 500	-	62, 846, 418	-	26, 826, 516	9, 531, 146	5, 267, 695	104, 471, 775
口町	66, 127, 972	889, 500	5, 619, 612	72, 637, 084	-	41, 248, 591	13, 321, 426	-	127, 207, 101

記載要領

- 1. 流域関連公共下水道は、「建設改良費」の欄に建設費負担金、「維持管理費」の欄に管理運営費負担金を含む。
- 2. 「起債元利償還費」の欄には、企業債取扱諸費を含む。

赤字:既計画

									赤子: 既言 黒字:変更		(単位:千円)
				ㅁ .	財	源の	部				
			建設改	良費			維持管理及び起		債元利償還	費	
年 次	国費	起債	他会計 繰入金	受益者 負担金	その他	計	下水道 使用料 ※	他会計 繰入金	その他	計	合計
平成29年度まで (過年度分)	15, 059, 844	37, 362, 900 37, 671, 082	5, 140, 624	1, 492, 806	1, 267, 923	60, 324, 097	14, 665, 659	24, 920, 367	-	39, 586, 026	99, 910, 123
(週午及刀)	11, 788, 058 987, 045	1, 342, 800	6, 400, 034 138, 851	1, 728, 151 53, 625	_	57, 587, 325 2, 522, 321	14, 237, 719 1, 024, 565	27, 187, 286 1, 014, 766	_	41, 425, 005 2, 039, 331	99, 012, 33 4, 561, 65
平成30年度	585, 555	1, 970, 640	125, 432	9, 104	_	2, 522, 521	909, 781	1, 298, 665	_	2, 208, 446	4, 899, 17
	-	-	-	- 5, 101	_	-	-	-	_		- 1,000,11
平成31年度	594, 119	1, 998, 890	45, 960	90, 514	-	2, 729, 483	956, 503	1, 277, 478	-	2, 233, 981	4, 963, 46
双子00左座	-	_	-	-	_	_	-	_	-	-	_
平成32年度	510, 400	1, 722, 740	39, 775	77, 759	_	2, 350, 674	1, 003, 908	1, 258, 392	_	2, 262, 300	4, 612, 97
平成33年度	- 487, 786	- 1, 648, 147	- 38, 104	- 74, 314	-	- 2, 248, 351	- 1, 044, 634	- 1, 163, 724	_	- 2, 208, 358	- 4, 456, 70
The Day for the	-	_	-	-	_	-	-	-	_	_	-
平成34年度	477, 682	1, 614, 820	37, 356	72, 775	-	2, 202, 633	1, 083, 555	1, 086, 955	-	2, 170, 510	4, 373, 143
平成35年度	- 615, 867	- 2, 070, 625	- 52, 186	- 89, 209	- -	- 2, 827, 887	- 1, 121, 670	939, 747	<u>-</u>	- 2, 061, 417	4, 889, 30
1 31	987, 045	1, 342, 800	138, 851	53, 625	_	2, 522, 321	1, 024, 565	1, 014, 766	-	2, 039, 331	4, 561, 65
小計	3, 271, 409	11, 025, 862	338, 813	413,675	-	15, 049, 759	6, 120, 051	7,024,961	-	13, 145, 012	28, 194, 77
合計	16, 046, 889	38, 705, 700	5, 279, 475	1, 546, 431	1, 267, 923	62, 846, 418	15, 690, 224	25, 935, 133		41, 625, 357	104, 471, 77
	15, 059, 467		6, 738, 847	2, 141, 826	- 00 00/ /	72, 637, 084		34, 212, 247	-	54, 570, 017	127, 207, 10
		接続率:88.6%	b(平成29年度	E: 初年度) -	→ 90.0% (平成35年度:	敢於年度)				
		水洗化の低	足進を図るため	の活動として	て、職員によ	る戸別訪問や	はがきによる	啓発活動等を	通じたPR活	動を行う。	
		有収率:86.2%	6(平成29年度	E:初年度)-	→ 86.2% (平成35年度:	最終年度)				
卜水道使用料※	下水道使用料※関連事項		し、有収率に	ついては現場	犬の維持に努	める。					
		その他の講じる	5対策								
		5年に一度、通	値正な料金体系	《の検討を行う	5.						
記載要領											

- 記載要領

 1. 「建設改良費」の「その他」の欄には、工事費負担金、都道府県補助金等を記載する。なお、流域下水道は建設負担金を含んで記載する。

 2. 「維持管理費及び起債元利償還費」の「その他」の欄には、都道府県補助金等を記載する。なお、流域下水道は管理運営費負担金を含んで記載する。

 3. 下水道使用料については、最近の有収水量の動向、国立社会保障・人口問題研究所等による人口・世帯数の見通し、企業立地の見通し等を踏まえた上で算定すること。

 4. 「下水道使用料※関連事項」の講じる対策の記載にあたっては、「下水道経営改善ガイドライン(平成26年6月、国土交通省・(公社)日本下水道協会)」等も必要に応じ参照すること。

 5. 「下水道使用料※関連事項」の「その他の講じる対策」欄には、例えば、下水道使用料の見直し検討や徴収対策の取組について記載する。

6. その他

(様式1)施設の設置に関する方針

主要な施策			整備水	性			+ # D ##	
(事業計画 に基づき今 後実施する 予定の事業 に関するも のを選定)	指標等		現在 (平成 29 年度末)	中期 目標 ^{(平成 35} ^{年度末)}	長期 目標	事業の 重点化 ・効率化 の方針	中期目標 を達成めの 主要業 事業	備考
汚水処理	下水道処理人口普及率	流域関連 単独 沼津市全体	36. 2% 23. 2% 59. 4%	38. 8% 27. 0% 65. 8%	67. 5% 27. 0% 94. 5%	人高(域優先を で域区の域区の を がほかにって の域区ら整て	西区渠(解 狩岸汚整普消部汚。未消 野処水備及 処水整普) 川理管(足区渠未解	
浸水対策	都市浸水対策達成率	整備目標 50.5mm/hr (5年確率)	5. 5% (246. 6ha)	5. 5% (246. 6ha)	100% (4, 510ha)	既設水路等 のストック を活用し、 効率的な整 備を図る		重大な浸水被 害が発生して いないことか ら、汚水の整 備を優先して 行う。
高度処理	(該	当なし)						
合流式 下水道 の改善	合流改善	荒式下水道 學率	100%	100%	100%			平成 25 年度 に合流改善事 後評価を完 了。
汚泥の 再生利用	燃料又は肥料等 有効利用された 割合		100%	100%	100%			平成 29 年度 末現在、100% 有効利用を行っていること から、くて有効 利用を行う。
その他 処理水の 有効利用	(該当なし)							
雨水の 有効利用	(該	当なし)						

(様式2) 施設の機能の維持に関する方針

a) 主要な施設に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の計画					
管渠施設	管路施設のうち、腐食のおそれの大きい箇所の管渠・マンホール (蓋を含む)を対象に5年に一度、管内目視又は管ロテレビカメラ等による点検を実施。また、10年に一度、もしくは、点検で異状が確認された場合、テレビカメラ等による調査を実施。また、その他の管路施設については、平成31年度に策定予定のストックマネジメント基本計画において点検・調査の方針を検討する。					
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	平成 31 年度に策定予定のストックマネジメント基本計画において点検・調査の方針を検討する。					

ii)診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	改築の判断基準
管渠施設	主要な管路施設を対象に、緊急度 I またはⅡに該当する施設を修繕・改築対象とする。なお、平成 31 年度を目途にストックマネジメント計画を策定し、計画的な改築・更新を実施予定。
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	健全度2以下に該当する施設を修繕・改築対象とする。なお、平成31年度を目途にストックマネジメント計画を策定し、計画的な改築・更新を実施予定。

iii) 改築事業の概要 (平成 30 年度~平成 35 年度)

主要な施設	改築事業の概要	
管渠施設	現在、事業計画期間内の改築予定はないが、平成31年度を目途にストックマネジメント計画を策定し、計画的な改築・更新を実施予定。	
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	現在、事業計画期間内の改築予定はないが、平成31年度を目途にストックマネジメント計画を策定し、計画的な改築・更新を実施予定。	

b) 施設の長期的な改築の需要見通し

改築需要の見通し (年当りの概ねの事業規模の試算)	試算の対象時期	試算の前提条件
年当たり概ね 3.0 億円	概ね 100 年後	管路施設の目標耐用年数を 75 年に設定。 ポンプ場の土木・建築構造物の目標 耐用年数を 75 年に設定。 ポンプ場の機械・電気設備の目標耐 用年数を 25 年に設定。